

福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画

～ 幅広い市民参加に向けて ～

福岡空港の総合的な調査

ステップ2:「対応策検討の前提条件」

平成18年3月

福岡空港調査連絡調整会議

<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

はじめに

福岡空港については、平成14年12月に国土交通省交通政策審議会航空分科会の答申において、「既存ストックの有効活用方策」、「近隣空港との連携方策」、「中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策」等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要があると位置づけられました。

これを受けて、国と地域（福岡県、福岡市）において平成15年度から連携・協力してこの総合的な調査を進めているところです。福岡空港の市民生活に果たす役割の大きさを考えると、調査にあたっては、空港利用者も含めた幅広い市民等の皆さんに対し、積極的に情報を提供するとともに、広くご意見を収集・反映していくなど透明性を確保し、市民等の皆さんと情報や多様な認識を共有して進めていくことが重要です。

そのため、福岡空港調査連絡調整会議では、市民等の皆さんに情報を提供し、幅広くご意見を収集し、検討に反映していく「パブリック・インボルブメント（PI）」を導入することとし、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（PI計画）を平成16年6月に決定し公表しました。

この計画にもとづき、平成17年の7月から「福岡空港の総合的な調査に係るPI（ステップ1）」を実施し、12月にステップ1を終了し、ステップ2に進むことを決定しました。

今回のPI（ステップ2）は、「対応策検討の前提条件」を対象とするものであり、PIを実施するにあたっての福岡空港調査PI（ステップ2）実施計画を、平成16年9月に実施したPIに関するアンケートや、PI（ステップ1）において寄せられたご意見や福岡空港調査PI有識者委員会の助言などを踏まえ、幅広い参加が期待できるシンポジウムや、説明会、オープンハウスの充実、PIレポートの情報入手の容易化などについて検討し、策定しました。

今回のPI（ステップ2）の実施にあたっては、皆さんにおかれましては、積極的にご参加の上、たくさんのご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

平成18年3月

福岡空港調査連絡調整会議

- 目 次 -

福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画

1	福岡空港調査 P I (ステップ 2) 実施計画の策定にあたっての基本方針	1
2	対象とするステップと目標	3
3	実施時期および期間	4
4	提供する情報内容	5
5	情報提供および意見収集の方法 (P I 手法)	6
6	収集した意見の取扱い	8
7	P I の終了	9
8	本実施計画策定について	1 1

<資料>	P I 手法の概要	1 5
------	-----------	-----

<参考>	1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(PI計画)の概要	
	2 福岡空港の総合的な調査の概要	
	3 P I (ステップ 1) の概要	
	4 福岡空港調査 P I 有識者委員会規約	
	5 本実施計画に係る福岡空港調査 P I 有識者委員会の評価書	
	6 関係機関のホームページ、情報提供窓口等	

福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画

- ・この福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画は、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(以後「PI計画」という)にもとづき、PI(ステップ2)のPIの方法等を明らかにするための計画です。

➤ PI(パブリック・インボルブメント)とは

- ・市民等を対象に施策の内容等について情報提供、意見収集を行い、地域のニーズにあったより良い施策の選定とその施策に対する意思決定を支援するプロセス

1 福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画策定にあたっての基本方針

十分な周知広報を実施します。
多様で適切なPI手法を選定します。
わかりやすい情報の提供を実施し、寄せられたご意見とそれに対する考え方を公表します。
中立・公正なPIを実施します。
適切な時間管理に努めます。

(1) 十分な周知広報の実施

- ・PIの実施にあたっては、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ等から幅広く、多くの市民等の皆さんにPIの実施について知っていただくことが必要です。
- ・周知広報の充実については、PI(ステップ1)においてもご意見をいただいております。今回のPIの実施にあたっても留意します。

(2) 多様で適切なPI手法の選定

- ・PI参加者が参加しやすい方法で実施します。
- ・PI(ステップ2)の検討内容、PIの目標に合わせた多様で適切な情報提供と意見収集の手法を選定します。
- ・市民等の皆さんのニーズにあった手法を選定します。

PIの実施状況等により見直すなど柔軟に対応します。

(3) わかりやすい情報提供と意見等の公表

- ・PI(ステップ2)で提供する情報は、将来を想定した情報や、専門的、技術的な情報が含まれることから、福岡空港調査連絡調整会議において市民等の皆さん

にわかりやすくとりまとめて提供します。

- ・とりまとめのもととなった調査等情報についても、他の調査等情報と区分して、公表します。
- ・寄せられたご意見については、個人が特定できる情報を除いて集約し、P I（ステップ2）の内容に照らしてどのように対応するかなど、福岡空港調査連絡調整会議がP I実施主体としての考え方も併せてとりまとめ、公表します。

（４）中立・公正なP Iの実施

- ・P Iの実施に関し、「P Iの開始時」「P I実施期間内」「P Iの終了時」など、P Iのプロセスにおいて、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の監視、評価・助言を受けます。
- ・福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の評価や助言については、誠実に対応します。これらについても福岡空港調査連絡調整会議のホームページで公表します。

（５）適切な時間管理

- ・P I（ステップ2）の内容、P Iの目標等を勘案し、迅速な情報提供、意見収集、時機を失しない判断など、適切な時間管理に努めます。

2 対象とするステップと目標

本実施計画は、検討プロセスのP I（ステップ2）「対応策検討の前提条件」を対象とします。

P I（ステップ2）では、地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測について情報を共有し、意見を十分に把握することを目標とします。

- ・今回のP Iは、総合的な調査の段階を踏んだ検討の第2ステップ「対応策検討の前提条件」に対応するものです。
- ・このP I（ステップ2）は、地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測といった今後の対応策の検討を進めていく際の前提条件となる情報を、市民等の皆さんと共有し、ご意見を十分に把握することを目標とします。

（想定される論点）

- ・福岡空港が果たすべき役割はなにか？
- ・今後の航空需要はどうなるのか？

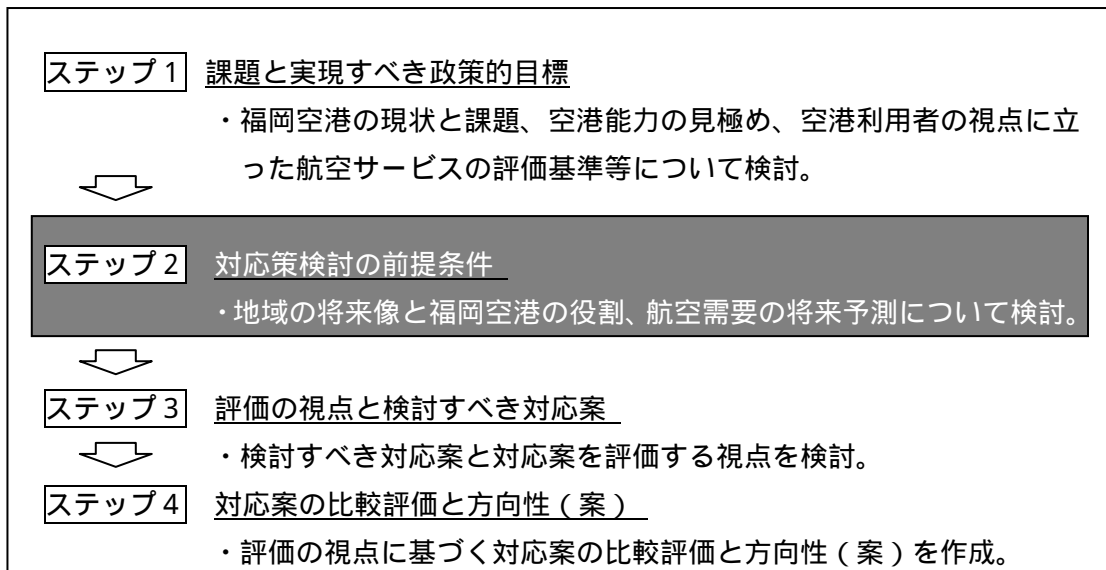


図 対象とするステップ

3 実施時期および期間

PI (ステップ2) は、平成18年度に実施します。
PIの実施期間は、概ね3ヶ月程度を目安とします。

(1) 実施時期

- ・PI (ステップ2) は、調査等情報が整理され、準備が整い次第、平成18年度に実施します。
- ・具体的な開始時期等については、準備状況等を総合的に勘案し、福岡空港調査連絡調整会議において決定し、公表します。

(2) 実施期間等

- ・たくさんのご意見を頂くためには、市民等の皆さんの関心と参加が得られやすいよう一定期間に高い密度の情報提供等を集中して実施することが必要であること等から、PIの実施期間は3ヶ月程度を目安として実施します。
- ・開始時期は、福岡空港調査連絡調整会議の決定を経て、ホームページに提供情報等を公開し、または、提供情報であるPIレポート等の配布を開始する時期とします。
- ・PIの終了は、情報提供、意見収集、ご意見と実施主体の考え方の公表、福岡空港調査PI有識者委員会の評価などを経て、福岡空港調査連絡調整会議で決定し、公表します。

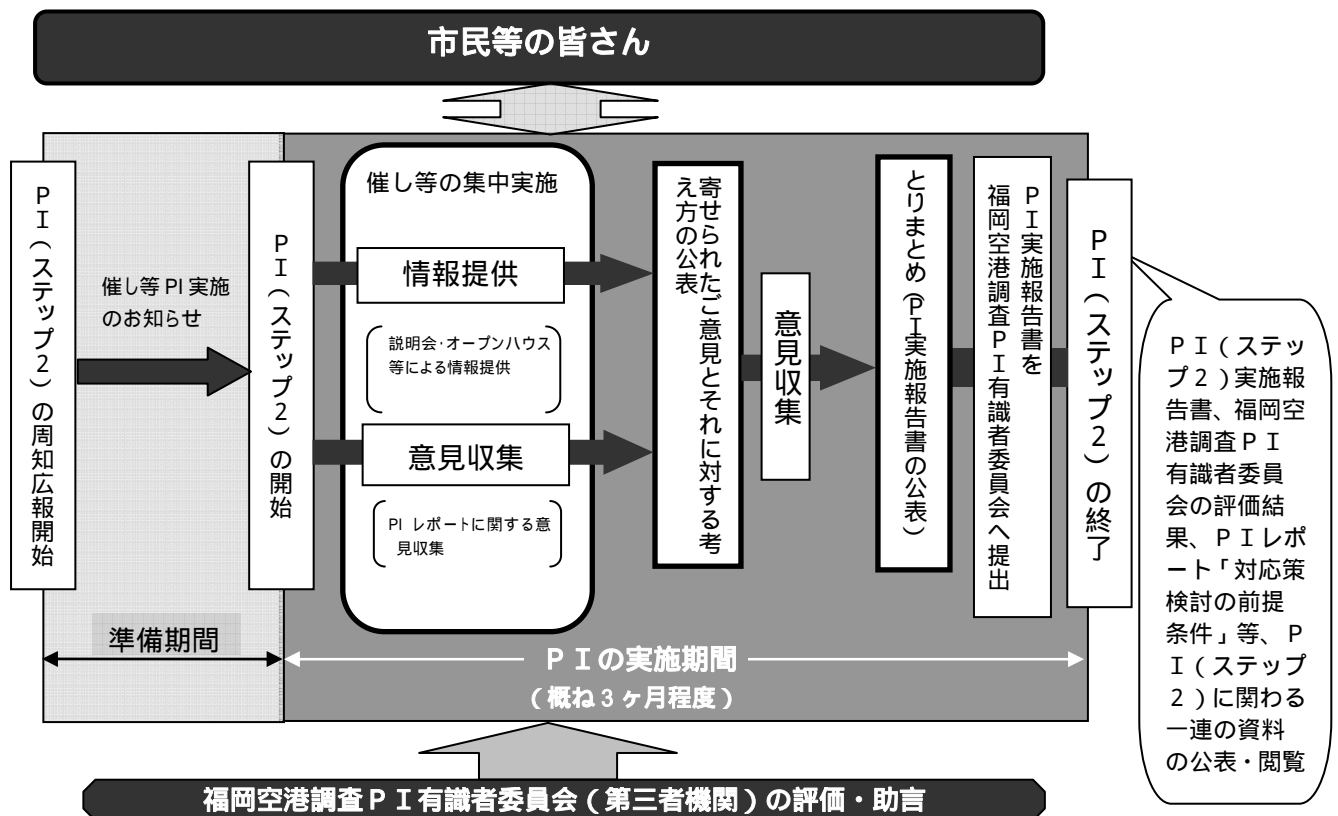


図 PI (ステップ2) の進め方イメージ

4 提供する情報内容

地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測といった今後の対応策を検討するための前提条件となる事項について提供します。

これらの情報は、P I実施主体（福岡空港調査連絡調整会議）においてP Iレポートとしてとりまとめ、わかりやすい形で市民等の皆さんに提供します。

レポートのもとになった調査等情報についても公表します。

- ・ P I（ステップ2）では、今後の対応策検討の前提条件となる事項である「地域の将来像と福岡空港の役割」「航空需要の将来予測」について検討情報を提供します。
- ・ 提供する情報は、P I実施主体（福岡空港調査連絡調整会議：以下同じ）においてわかりやすくとりまとめ、P Iレポート、P Iレポート詳細版として提供します。
- ・ このP Iレポートのもととなった調査等情報についても、ホームページや関係行政機関の情報提供窓口等で公表し、閲覧できるようにします。
- ・ P I参加者のご意見や、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言等により、追加や補足の資料とりまとめを行った場合には、これについても公表します。

表 提供情報

提供情報	情報の内容
地域の将来像は？ 福岡空港の役割は？	地域のビジョンや社会の動向等をもとにした地域の将来像やその実現に向けた福岡空港の役割について、検討情報を提供します。
将来の航空需要は？	福岡空港の将来の航空需要について予測の考え方や予測結果について、検討情報を提供します。

5 情報提供および意見収集の方法（P I手法）

P Iの開始に先立ち、十分な周知広報を実施します。

情報を容易に入手でき、ご意見を表明できるP I手法を実施します。

P I参加者は、空港利用者をはじめ福岡県民、福岡市民など幅広い市民等の皆さんを想定します。

（1）P I実施に関する周知・広報

P Iの開始にあたっては、事前にP I実施の概要を

- ・関係行政機関の広報手段による広報
- ・報道機関への情報提供
- ・各種メディアでの告知
- ・ホームページへの掲載

等により、幅広くお知らせします。

（2）情報提供および意見収集の方法

- ・P I（ステップ2）において提供する情報は、今後対応策の検討を進めていく際の前提条件となる事項である福岡空港の役割や将来の需要予測などに関するものとなります。
- ・市民等のみなさんから幅広くご意見をいただけるよう、情報をわかりやすい形で提供します。
- ・市民等のみなさんがいずれかの手法により、情報を入手でき、ご意見を表明できるような情報提供・意見収集の方法を工夫します。

（3）想定するP I参加者

- ・福岡空港の広域性、影響範囲の大きさ等から、幅広い市民等の皆さんの参加を想定し、ホームページ等の活用により、県域、住所や空港利用の有無に関わりなく情報を提供して、ご意見を収集します。
- ・空港や駅での資料配布、ホームページの活用等により、市民等の皆さんが幅広く参加できるよう留意します。

（想定するP I参加者）

- ・福岡空港の周辺地域住民およびその関連自治体
- ・福岡県民、福岡市民
- ・福岡空港利用者（居住地等に関わり有りません）
- ・県内地方自治体
- ・福岡空港の利用企業、航空会社、空港・航空関連企業
- ・地元経済団体
- ・福岡空港に関心を有する国内外の個人および団体
- ・その他

具体的な情報提供・意見収集の方法等は、次ページ参照。

6 収集した意見の取扱い

収集したご意見は、「寄せられたご意見とそれに対する考え方」として、とりまとめ公表します。

寄せられたご意見や福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言により追加や補足資料のとりまとめを行う必要がある場合は、迅速に対応し、ホームページ等で公表します。

（1）意見および意見に対する考え方等の公表

- ・説明会、懇談会等の催しについては、実施結果の概要をとりまとめ、ホームページに掲載することとし、発言された主なご意見等は、個人等に関わる情報を除いて実施結果の概要に含め、公表します。
- ・P Iレポート等提供情報に関するご意見の提出期間については、予め公表し、その期限を目処にご意見を集約し、「寄せられたご意見とそれに対するP I実施主体の考え方」をとりまとめて公表します。
- ・この「寄せられたご意見とそれに対する考え方」に対してもご意見を収集します。
- ・これらのご意見は、最終的にP I（ステップ2）実施報告書にとりまとめ、公表します。

（2）追加および補足のとりまとめ

- ・寄せられたご意見については、P I実施主体である福岡空港調査連絡調整会議の構成機関において随時共有し、追加や補足の資料とりまとめが必要と判断される場合は、迅速に対応し、公表します。
- ・福岡空港調査P I有識者委員会の助言によって追加や補足資料のとりまとめが必要な場合も、速やかに対応し、公表します。

7 P Iの終了

P I実施主体として当初の目標が達成されたかどうか、まず判断します。

P I実施主体として当初の目標が達成されたと判断した場合は、P I（ステップ2）実施報告書を取りまとめ、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）に提出し、評価や助言を受けます。

...このP I（ステップ2）実施報告書および福岡空港調査P I有識者委員会の評価や助言についても公表します。

福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の評価や助言を踏まえ、P I（ステップ2）を継続するか、終了するかを総合的に判断し、公表します。

（1）目標達成の判断

- ・提供した情報の周知や意見集約の状況などについて、P Iの実施を通して把握し、目標が達成されたかどうかを総合的に判断します。

表 判断する際の考え方の例

視点	考え方(例)
情報が市民等に十分に周知されたか。	・提供した情報が広く市民等に伝わったか。
市民等から幅広く意見が収集されているか。	・県民、市民、空港利用者、企業など、幅広い皆さんから意見が寄せられているか。

（2）P I（ステップ2）実施報告書の作成と提出

- ・目標を達成したと判断される場合には、P Iの実施状況、寄せられたご意見とそれに対する考え方などをとりまとめたP I（ステップ2）実施報告書を速やかに作成し、公表するとともに福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）に提出します。

（3）福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の評価や助言とその公表

- ・提出したP I（ステップ2）実施報告書は、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）によって内容が評価され、必要に応じ助言がなされます。
福岡空港調査P I有識者委員会は、評価に際し、必要がある場合は、P I実施主体に実施関係資料の提出を求め、また、ヒアリングすることなどができます。
- ・P I（ステップ2）実施報告書に関する評価や助言については、公表します。

(4) P I (ステップ2) の終了と結果の公表

- ・ P I実施主体は、福岡空港調査 P I 有識者委員会（第三者機関）の評価や助言を踏まえ、P Iを継続するか、終了するかどうかを総合的に判断し、その判断結果を速やかに公表します。

8 本実施計画策定について

本実施計画は、平成16年6月に策定した「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」を基本とし、平成16年9月に実施した「福岡空港の総合的な調査に係るPI実施計画」作成にあたっての意見収集アンケートの結果を踏まえ、平成17年度に実施したPI（ステップ1）でいただいた「PIに関するご意見」および福岡空港調査PI有識者委員会の助言を参考として作成しました。

- ・PIの取り組みについて

「今後の取り組みに期待する」といったご意見が多く寄せられた一方、PIに関する広報強化や多くの方が参加しやすい催しについてのご要望をいただいております。これを踏まえて、PI（ステップ2）では、周知広報の取り組みと併せてシンポジウムなど、幅広い参加が期待できる催しを取り入れました。

- ・PIの催し等について

PIの催し等については、ご意見をお寄せいただいた方のうち、約3割の方が催しに参加いただいております。その評価として、「満足」「ほぼ満足」「普通」とお答えいただいた方が、86%に達しておりますが、さらに拡充を望まれるご意見もあることから、説明会や懇談会、オープンハウス等の活動を充実させることを検討します。

- ・PIレポート等について

PIレポートは、「わかりやすかった」「普通」と答えられた方で全体の8割強を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えられますが、一方で、記述されたご意見の中には、わかりにくい、また、内容を充実すべき等のご意見や偏向的ではないかとのご意見も寄せられており、PIレポートの作成にあたって留意することとしております。

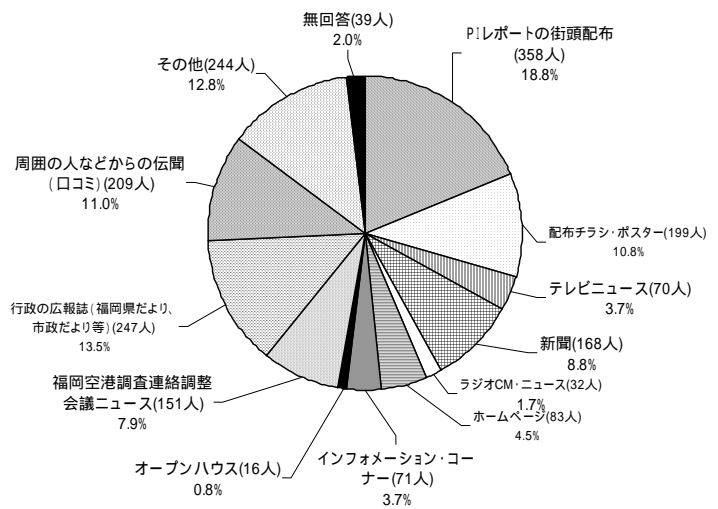
PIレポートは、わかりやすく、また、見やすくするため、調査結果の概要を示したものを作成します。また、PIレポートの詳細版も作成しますが、詳細版は数が限られるため、閲覧方法や入手方法について、ホームページ、国、県、市の情報提供窓口等でご紹介することとします。

PIレポートの配布に際しては、ご意見が提出しやすいよう、わかりやすく記載しやすい、ご意見提出のための用紙等を添付します。

参考 1 : P I (ステップ1) でいただいた「P Iに関するご意見」の概要

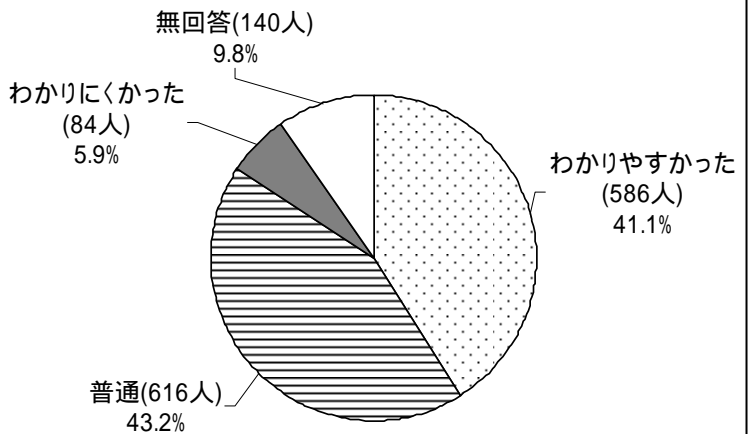
今回のP I (ステップ1) が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

多様なメディアを介してP Iについて周知されており、P I (ステップ1) で実施した手法は、いずれも効果があったと考えられます。特に「P Iレポートの街頭配布」「配布チラシ・ポスター」が、全体の3割近くを占めており、この手法についてはステップ2でも実施していくこととしています。



P Iレポートはわかりやすかったですか。

「わかりやすかった」「普通」を答えた方で全体の8割強を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えます。



参加した催しは何ですか(グラフ左) またその印象はいかがでしたか。(グラフ右)

催しに参加された方は、全体の約3割の方ですが、その評価として、「満足」「ほぼ満足」「普通」とお答えいただいた方が、86%に達しており、概ね適切であったと考えられます。

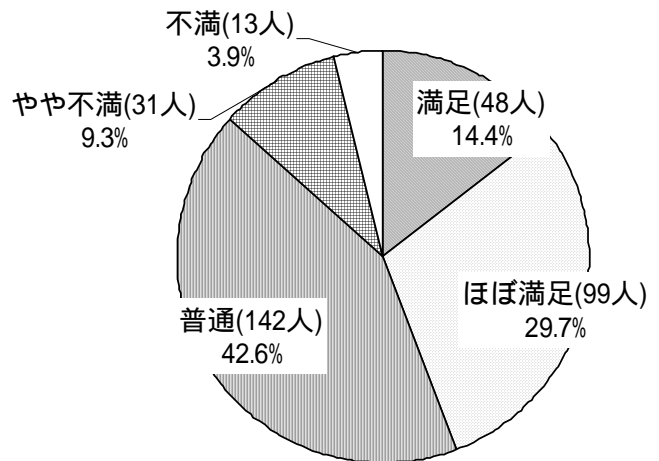
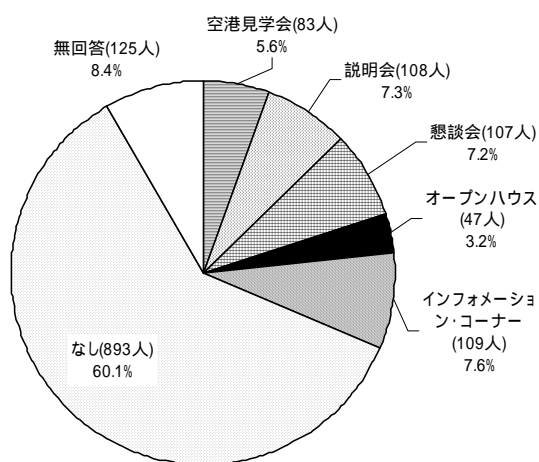


表 P I (ステップ1) で寄せられた「P I に関するご意見」の概要と意見に対する考え方

内容		意見に対する考え方
<p>PIの取り組みを評価する意見、PRの強化や催し充実などへの意見など、肯定的な意見が多く寄せられました。一方、PIの取り組みやPIレポートについて偏っているのではないかと、意見、レポートがわかりにくいなどの意見、時間管理をしっかりと行うべきとの意見もありました。</p>		
1.PIの取り組みに対する意見	168 件	<p>PIについては、透明性、公正さを基本に、実施しています。今後、検討の段階、ステップに応じて、PIを実施することになりますが、皆様からの意見を踏まえつつ進めて参りたいと考えます。また、PIレポートは、客観的な資料、データに基づき、整理、分析し作成しており、レポート作成に係る調査報告等についても、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ等で公開し、透明性を確保しながら作成しています。今後、PIレポート等はよりわかりやすい内容とするよう工夫するとともに、皆様の一層の信頼が得られるよう努力して参ります。</p>
今後の取り組みに期待する等の意見	76 件	
PIの取り組みへの懐疑的な意見	23 件	
時間管理に関する意見	15 件	
PIの取り組みの広報強化などに関する意見	54 件	
2.PIの催し等に関する意見	68 件	<p>福岡空港の総合的な調査に係るPIは、透明性、公正さを確保しながら、幅広く皆様に情報を提供し、それに対する皆様の意見を検討に反映していくことを目的として実施しています。また、福岡空港の総合的な調査の進め方に関しても、審議の過程や調査報告等をホームページで公開するなどしています。PIへの取り組みの評価や取り組みについての広報等への意見を踏まえつつ、今後も工夫し、皆様の期待に応えられるよう、また、適切な時間管理のもと進めて参ります。</p>
催しの評価や拡充のための提案などの意見	64 件	
PIを縮小、やめるべきとの意見	4 件	
3.PIレポートに対する意見	174 件	<p>PIレポートについては、わかりやすさを旨としてとどめていますが、内容が広範にわたることからパンフレット版以外にその詳細版を、福岡空港連絡調整会議のホームページ、福岡県、福岡市の情報窓口、福岡空港などのインフォメーションコーナー等でご覧いただくようにしています。今後も、情報が皆様にわかりやすく伝わるよう努力していきたいと考えます。また、今回のPIレポートの内容については、「福岡空港の現状と課題」、「空港能力の見極め」について、客観的な資料、データに基づき、整理、分析しています。このレポートの作成に係る調査報告等についても、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ等で公開しており、内容の取りまとめに関してもオープンに進めています。今後、より一層の皆様の信頼が得られるよう努力して参ります。</p>
興味深いとされるなどの意見	53 件	
偏向的ではないかと、意見	56 件	
わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	65 件	
4.その他	44 件	-

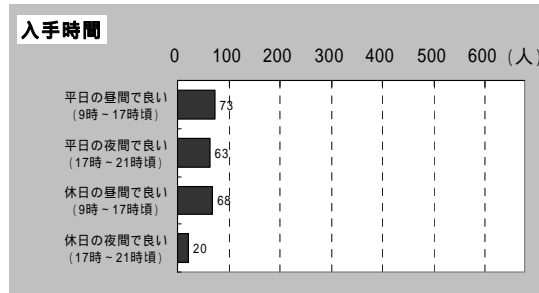
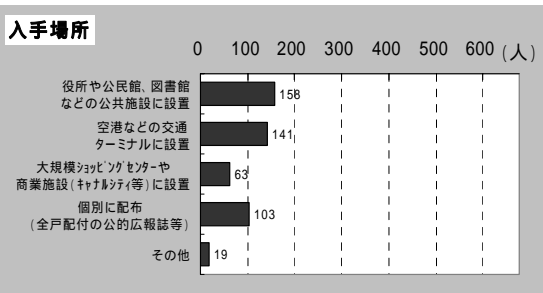
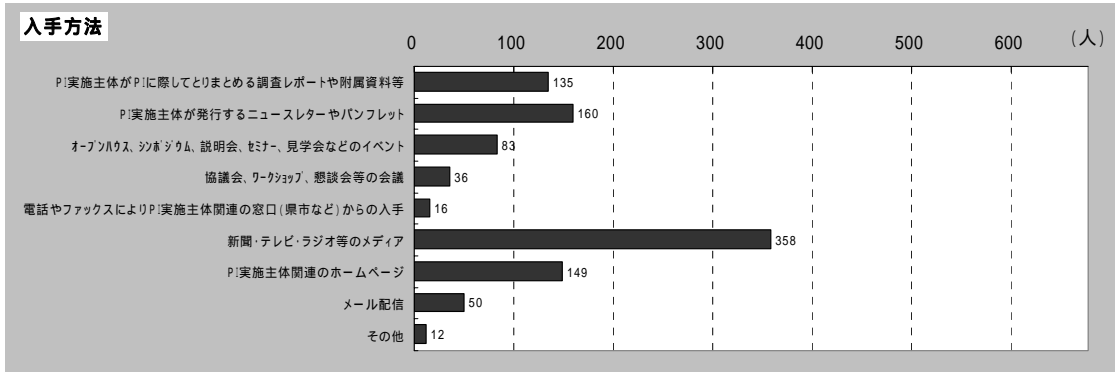
P I に関する意見数（395件）と表中の意見件数は、1 件で複数の項目に意見をしている場合が見られるため、合計は一致しない。

**参 考 2：「福岡空港の総合的な調査に係る P I 実施計画」作成にあたっての
意見収集アンケートの概要**

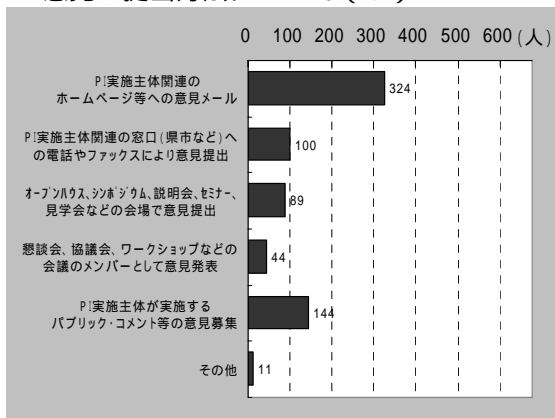
実施期間	2004 年 9 月 29 日～10 月 18 日 (Web20 日)
配布方法	郵送、空港・駅等での配布、県市情報提供窓口、市町村への配布、福岡空港連絡調整会議関係機関 HP による Web アンケート等
回収方法	郵送、Web、街頭聞き取り、ファックス
回収数	677 名

アンケートの集計結果 (P I 実施関係)

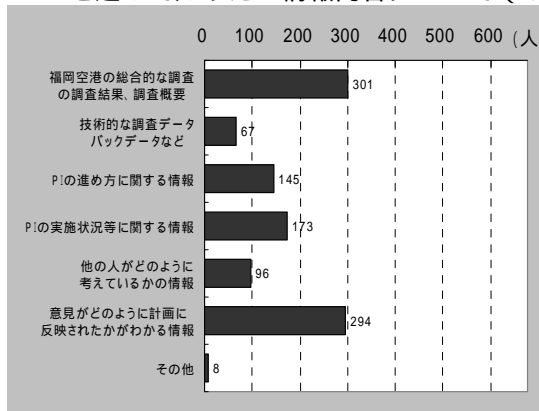
情報の入手方法や場所について (Q5)



意見の提出方法について (Q6)



P I を通じて知りたい情報内容について (Q7)



なお、本意見収集アンケート概要については、平成 16 年度第 2 回福岡空港調査連絡調整会議資料として公表済み。


<資料>

PI手法の概要




(1) P I レポート

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 提供情報を、文章や写真でわかりやすく印刷物として製作し、市民等に広く配布。
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> P Iの実施状況や調査等のレポートなど関連する情報を広く市民等に伝える。
<p>手法の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福岡空港の総合的な調査に関する調査結果を文章やグラフ、写真等でわかりやすくまとめて提供。 P I参加者等への配布、ホームページへの掲載、関係行政機関の公共施設等での陳列等により市民等に情報提供。 情報の要点をわかりやすく把握できるとともに、幅広い市民等に配布可能であり、確実な情報提供が可能。また、印刷物として手元に残すことも可能。
<p>実施のタイミング</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各ステップのP I開始時点で集中的に配布。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全ての市民等。
<p>提供する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な調査に関する調査結果全般。
<p>事例</p>	<p style="text-align: center;">P I レポート (ステップ1)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>P I レポート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>P I レポート 詳細版</p> </div> </div>


(2)シンポジウム

概要	<ul style="list-style-type: none">・ 調査の結果に基づき、基調講演やパネルディスカッションを開催。
目的	<ul style="list-style-type: none">・ 市民等の関心を高め、認知度を高めること。
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 一度に多くの人々が参加でき、幅広く情報を伝達するなどの効果が期待できる。
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none">・ P I の各ステップにおいて随時。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・ パネラーは、有識者や地元のオピニオンリーダー。・ 一般参加は、すべての市民等。
提供する情報	<ul style="list-style-type: none">・ その時点で議題とすべき事項の詳細な情報。
事例	<p>大和北道路シンポジウム：大和北道路</p> <ul style="list-style-type: none">・ 実施日時 平成 15 年 2 月 16 日 14:00 ~ 17:00・ プログラム <p>コーディネーターによる基調報告 / 4 名のパネラーによるパネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none">・ 参加者数 354 名・ 関連イベント P I プロセスを紹介したパネル展・ 結果広報 「日本経済新聞」「京都新聞」「奈良新聞」に掲載 

(3) インフォメーションコーナー

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供・収集のための常設の施設。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I および関連する調査等の結果をわかりやすく伝える。 ・ 市民等からの信頼度を高めること。
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民等と行政スタッフがフェイス・ツー・フェイスのコミュニケーションを行うことで、信頼関係を高めることが可能。
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I の実施と同時に設置。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設へ直接来訪できる市民等。
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I に関わる情報。 ・ P I レポートに関する情報など。
事例	<p>P I (ステップ1) のインフォメーションコーナー</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;">福岡空港</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;">福岡県庁</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;">福岡市役所</div> </div> </div>

(4)ホームページ

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上にホームページを開設し、これを活用して関連する情報を提供。
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最新情報を迅速にかつ広範囲(全世界)に提供。
<p>手法の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広範で範囲の特定が困難な市民等に対する情報提供手法として有効な手法。 ・市民等は、情報を迅速に得ることができ、精度の高い(ボリュームの多い)情報も入手可能。さらにビジュアル表現によりわかり易い情報を得ることができる。 ・返信メールアドレスを明示することで双方向コミュニケーションが容易に実現。
<p>実施のタイミング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P Iの実施と同時に設置されることが望ましい。 ・以降、こまめに情報を更新し、タイムリーな情報提供を行うことが重要。
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等に加え、関連する全ての人を対象。
<p>提供する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P Iに関するすべての情報(調査等の情報を含む)。
<p>事例</p>	<p style="text-align: center;">福岡空港調査連絡調整会議ホームページ http://www.fukuokakuko-chosa.org/</p> 



(5) 説明会

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査等の情報を P I 実施主体が説明し、市民等からこれに対する質問や意見を受ける公式の場として開催。 												
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公式に P I 実施主体が市民等に対して、調査等の情報を提供する。 												
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な情報を伝えることが可能。 ・ 説明会やセミナーのみで市民等と十分なコミュニケーションするためには、他の対話手法と組み合わせて用いることが必要。 												
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I の各ステップにおいて随時。 												
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての市民等。 												
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I レポートに関する情報。 												
事例	<p style="text-align: center;">P I (ステップ 1) の説明会 実施結果</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あいいふ(10 階講堂)【福岡市内】</td> <td>平成 17 年 8 月 18 日(木) 19:00~21:00</td> </tr> <tr> <td>イツカコミュニティセンター(4 階学習室)【筑豊地区】</td> <td>平成 17 年 8 月 22 日(月) 19:00~20:35</td> </tr> <tr> <td>北九州国際会議場(2 階 21 会議室)【北九州地区】</td> <td>平成 17 年 8 月 29 日(月) 19:00~20:30</td> </tr> <tr> <td>コミセンわじろ【福岡地区】</td> <td>平成 17 年 8 月 30 日(月) 19:00~21:15</td> </tr> <tr> <td>石橋文化会館【筑後地区】</td> <td>平成 17 年 9 月 14 日(水) 19:00~21:00</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>あいいふ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イツカコミュニティセンター</p> </div> </div>	開催場所	開催日	あいいふ(10 階講堂)【福岡市内】	平成 17 年 8 月 18 日(木) 19:00~21:00	イツカコミュニティセンター(4 階学習室)【筑豊地区】	平成 17 年 8 月 22 日(月) 19:00~20:35	北九州国際会議場(2 階 21 会議室)【北九州地区】	平成 17 年 8 月 29 日(月) 19:00~20:30	コミセンわじろ【福岡地区】	平成 17 年 8 月 30 日(月) 19:00~21:15	石橋文化会館【筑後地区】	平成 17 年 9 月 14 日(水) 19:00~21:00
開催場所	開催日												
あいいふ(10 階講堂)【福岡市内】	平成 17 年 8 月 18 日(木) 19:00~21:00												
イツカコミュニティセンター(4 階学習室)【筑豊地区】	平成 17 年 8 月 22 日(月) 19:00~20:35												
北九州国際会議場(2 階 21 会議室)【北九州地区】	平成 17 年 8 月 29 日(月) 19:00~20:30												
コミセンわじろ【福岡地区】	平成 17 年 8 月 30 日(月) 19:00~21:15												
石橋文化会館【筑後地区】	平成 17 年 9 月 14 日(水) 19:00~21:00												


(6) 懇談会

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連事業者や市民、各種の団体、有識者など特定のカテゴリーの関係者と意見交換を行い、情報の共有等を図る。 																								
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を提供し、特定のカテゴリー層の意見や論点を顕在化させること。 																								
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分に情報提供し、議論することにより、相互の理解を深めることができる。 ・ 参加者の属性に応じて設置することで、参加者が発言しやすい環境を創出する。 																								
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I の各ステップにおいて随時。 																								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連する事業者や関心を持つ市民、各種の団体（市民団体等も含む）、専門知識を有する有識者など。 																								
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ P I レポートに関する情報。 																								
事例	<p style="text-align: center;">P I（ステップ1）の懇談会 実施結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象者</th> <th style="width: 35%;">開催場所</th> <th style="width: 35%;">開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通事業者等</td> <td>アクロス福岡 607 会議室</td> <td>平成 17 年 9 月 7 日(水)</td> </tr> <tr> <td>航空関係事業者</td> <td>空港ビル待合室 D, E</td> <td>平成 17 年 9 月 8 日(木)</td> </tr> <tr> <td>空港関連事業者</td> <td>空港ビル待合室 D, E</td> <td>平成 17 年 9 月 8 日(木)</td> </tr> <tr> <td>利用企業等</td> <td>あいれふ 10 階講堂他にて 4 回開催</td> <td>平成 17 年 9 月 9 日(金)~ 13 日(火)</td> </tr> <tr> <td>空港周辺住民等</td> <td>地元集会所他にて 4 回開催</td> <td>平成 17 年 9 月 14 日(水)~ 20 日(火)</td> </tr> <tr> <td>市民団体</td> <td>アクロス福岡 606 会議室</td> <td>平成 17 年 9 月 10 日(土)</td> </tr> <tr> <td>空港周辺自治体</td> <td>あいれふ 10 階講堂</td> <td>平成 17 年 9 月 9 日(金)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>アクロス福岡 607 会議室</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>空港ターミナルビル 待合室 D, E</p> </div> </div>	対象者	開催場所	開催日	交通事業者等	アクロス福岡 607 会議室	平成 17 年 9 月 7 日(水)	航空関係事業者	空港ビル待合室 D, E	平成 17 年 9 月 8 日(木)	空港関連事業者	空港ビル待合室 D, E	平成 17 年 9 月 8 日(木)	利用企業等	あいれふ 10 階講堂他にて 4 回開催	平成 17 年 9 月 9 日(金)~ 13 日(火)	空港周辺住民等	地元集会所他にて 4 回開催	平成 17 年 9 月 14 日(水)~ 20 日(火)	市民団体	アクロス福岡 606 会議室	平成 17 年 9 月 10 日(土)	空港周辺自治体	あいれふ 10 階講堂	平成 17 年 9 月 9 日(金)
対象者	開催場所	開催日																							
交通事業者等	アクロス福岡 607 会議室	平成 17 年 9 月 7 日(水)																							
航空関係事業者	空港ビル待合室 D, E	平成 17 年 9 月 8 日(木)																							
空港関連事業者	空港ビル待合室 D, E	平成 17 年 9 月 8 日(木)																							
利用企業等	あいれふ 10 階講堂他にて 4 回開催	平成 17 年 9 月 9 日(金)~ 13 日(火)																							
空港周辺住民等	地元集会所他にて 4 回開催	平成 17 年 9 月 14 日(水)~ 20 日(火)																							
市民団体	アクロス福岡 606 会議室	平成 17 年 9 月 10 日(土)																							
空港周辺自治体	あいれふ 10 階講堂	平成 17 年 9 月 9 日(金)																							

(7)オープンハウス

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルの展示やパンフレット等資料の配布（場合により、図面、写真、模型、ビデオを用いた解説）により、市民等が参加しやすい時間帯に情報を提供する場を設ける。 ・市民等は担当の行政スタッフに対して質問し、コメントカードやアンケートによって意見を述べる事が可能。 												
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が、参加しやすい環境のもと、とりまとめられたPI レポート等に関する正確な情報を提供する。 ・会議形式の行事に抵抗感を有する市民等に機会を提供し幅広く情報提供する。 												
<p>手法の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会など大勢の前で発言することに抵抗感を有する市民等も参加しやすい。 ・市民等は、都合の良い時間に立ち寄り、必要な情報を得ることが可能。 ・フリップボード等に参加者の意見を残すことで、他の参加者の意見を知ることが可能。 												
<p>実施のタイミング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PIの各ステップにおいて随時。 												
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市民等。 												
<p>提供する情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PIに関わる情報。 ・PIレポートに関わる情報など。 												
<p>事例</p>	<p style="text-align: center;">PI（ステップ1）のオープンハウス 実施結果</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">開催場所</th> <th style="text-align: center;">開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天神地下街(北広場イベントコーナー)【福岡市内】</td> <td>平成 17 年 8 月 19 日(金)、20 日(土)10:00~20:00</td> </tr> <tr> <td>J R小倉駅(3F ジャム広場)【北九州地区】</td> <td>平成 17 年 8 月 23 日(火)、24 日(水)10:00~20:00</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドシティ・ルクール【福岡地区】</td> <td>平成 17 年 8 月 26 日(金)、27 日(土)10:00~20:00</td> </tr> <tr> <td>西鉄久留米駅(2 階イベントスペース)【筑後地区】</td> <td>平成 17 年 8 月 26 日(金)、27 日(土)10:00~20:00</td> </tr> <tr> <td>ジャスコ穂波店【筑豊地区】</td> <td>平成 17 年 9 月 2 日(金)、3 日(土)10:00~20:00</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">天神地下街(北広場イベントコーナー) ダイヤモンドシティ・ルクール</p>	開催場所	開催日	天神地下街(北広場イベントコーナー)【福岡市内】	平成 17 年 8 月 19 日(金)、20 日(土)10:00~20:00	J R小倉駅(3F ジャム広場)【北九州地区】	平成 17 年 8 月 23 日(火)、24 日(水)10:00~20:00	ダイヤモンドシティ・ルクール【福岡地区】	平成 17 年 8 月 26 日(金)、27 日(土)10:00~20:00	西鉄久留米駅(2 階イベントスペース)【筑後地区】	平成 17 年 8 月 26 日(金)、27 日(土)10:00~20:00	ジャスコ穂波店【筑豊地区】	平成 17 年 9 月 2 日(金)、3 日(土)10:00~20:00
開催場所	開催日												
天神地下街(北広場イベントコーナー)【福岡市内】	平成 17 年 8 月 19 日(金)、20 日(土)10:00~20:00												
J R小倉駅(3F ジャム広場)【北九州地区】	平成 17 年 8 月 23 日(火)、24 日(水)10:00~20:00												
ダイヤモンドシティ・ルクール【福岡地区】	平成 17 年 8 月 26 日(金)、27 日(土)10:00~20:00												
西鉄久留米駅(2 階イベントスペース)【筑後地区】	平成 17 年 8 月 26 日(金)、27 日(土)10:00~20:00												
ジャスコ穂波店【筑豊地区】	平成 17 年 9 月 2 日(金)、3 日(土)10:00~20:00												

(8)見学会

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民等が、検討の対象となる地域や施設を直接訪問し、現状や関連する調査結果について説明を聞くための催し。 												
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地を見ることで市民等の理解を深める。 												
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や施設の実情を直接訪問することで、市民等が理解を深めることができる。 												
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時。 												
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心、参加意識が高い市民等。 												
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学対象となる地域や施設に関する情報。 												
事例	<p style="text-align: center;">P I（ステップ1）の福岡空港見学会 実施結果</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">開催日時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 17 年 8 月 17 日(水)</td> <td>10 : 00 ~ 12:45</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年 8 月 21 日(日)</td> <td>10 : 00 ~ 12:30</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年 9 月 4 日(日)</td> <td>10 : 00 ~ 12:30</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年 9 月 5 日(月)</td> <td>10 : 00 ~ 12:30</td> </tr> <tr> <td>平成 17 年 9 月 10 日(土)</td> <td>10 : 00 ~ 12:45</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">  <p>福岡空港ターミナル屋上から航空機の運航状況を見学</p> </div>	開催日時		平成 17 年 8 月 17 日(水)	10 : 00 ~ 12:45	平成 17 年 8 月 21 日(日)	10 : 00 ~ 12:30	平成 17 年 9 月 4 日(日)	10 : 00 ~ 12:30	平成 17 年 9 月 5 日(月)	10 : 00 ~ 12:30	平成 17 年 9 月 10 日(土)	10 : 00 ~ 12:45
開催日時													
平成 17 年 8 月 17 日(水)	10 : 00 ~ 12:45												
平成 17 年 8 月 21 日(日)	10 : 00 ~ 12:30												
平成 17 年 9 月 4 日(日)	10 : 00 ~ 12:30												
平成 17 年 9 月 5 日(月)	10 : 00 ~ 12:30												
平成 17 年 9 月 10 日(土)	10 : 00 ~ 12:45												

(9)グループヒアリング

概要	<ul style="list-style-type: none">・ 市民等の中から小グループ（10人前後）を選出し、市民等のニーズ、期待、関心等に関するインタビュー調査を実施。
目的	<ul style="list-style-type: none">・ 総合的な調査やP Iに対する市民等の意見を収集する。
手法の特徴	<ul style="list-style-type: none">・ 市民等は、ニーズ、期待、関心等をアンケートよりも詳細に発言することが可能。・ メンバーが互いに影響しあうことから単独のインタビューよりも発言しやすい。
実施のタイミング	<ul style="list-style-type: none">・ P Iの各ステップにおいて随時。
参加者	<ul style="list-style-type: none">・ 市民等からの無作為選出者。
提供する情報	<ul style="list-style-type: none">・ 総合的な調査やP Iに関する情報等。

< 参考 >

- 1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(P I 計画) の概要
- 2 福岡空港の総合的な調査の概要
- 3 P I (ステップ 1) の概要
- 4 福岡空港調査 P I 有識者委員会規約
- 5 本実施計画に係る福岡空港調査 P I 有識者委員会の評価書
- 6 関係機関のホームページ、情報提供窓口等

1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(PI計画)の概要

PI計画(平成16年6月策定)は、福岡空港の将来の混雑問題などについて調査する「総合的な調査」にあたって、パブリック・インボルブメント(PI)の手法を導入し、みなさんの意見を検討に反映していくための基本的な考え方を示したものです。その内容について以下に概説します。

(1) 福岡空港の総合的な調査

福岡空港の総合的な調査は、

- ・既存ストックの有効活用方策
 - ・近隣空港との連携方策
 - ・中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策
- などの調査を通じ、考えられる様々な対応方策の中から、今後講ずべき施策の組合せ等の選択肢を示す方向性(案)を作成するものです。

これは、多様な対応方策の選択肢について、地域のニーズ等を踏まえて、幅広く調査・検討するものであり、候補地を選定する構想段階や事業実施の前提となる計画を決める施設計画段階以前の「調査段階」に位置付けられます。

(2) 総合的な調査の実施に当たっての基本方針

総合的な調査の実施に当たっては、

- ・福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ・多面性。
- ・これまでの取り組みにおける市民等とのコミュニケーションの不足。
- ・公共事業全般に求められている透明性の確保と説明責任の遂行。

などから、関係行政機関が政策の方向性の形成・決定を行うに当たっては、その過程で市民等と情報の共有を図りつつ、意見を十分に収集し反映していくことが重要です。

(基本方針)

情報公開にとどまらない積極的な情報提供の実施。

市民等との多重多層のコミュニケーションに基づき、市民等に関かれた進め方での調査検討の実施。

市民等のニーズ・意見を収集し、総合的な調査に適切に反映できる手法の導入。

(3) 総合的な調査に係るP Iについて

P Iの基本的な考え方

全体の進め方を明確にし、市民等と共有。

基本的なところから段階を踏んだ検討とそれに連動したP Iの実施。

市民等にとってわかりやすく、公正さを担保できる体制の確保。

方向性(案)検討のステップと検討のステップに連動したP Iの実施

- ・ 福岡空港の総合的な調査においては、その内容等を踏まえ、「課題と実現すべき政策的目標」「対応策検討の前提条件」「評価の視点と検討すべき対応案」「対応案の比較評価と方向性(案)」の4つのステップで検討します。
- ・ P Iは、検討の各ステップに対応して実施し、市民等の皆様の意見を検討に反映します。

4つのステップを踏んで検討を進め、方向性(案)を作成します。

ステップ1 課題と実現すべき政策的目標



・ 福岡空港の現状と課題、空港能力の見極め、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準等について検討します。

ステップ2 対応策検討の前提条件



・ 航空需要の将来予測、地域の将来像と福岡空港の役割について検討します。

ステップ3 評価の視点と検討すべき対応案



・ 検討すべき対応案と対応案を評価する視点を検討します。

ステップ4 対応案の比較評価と方向性(案)

・ 評価の視点に基づく対応案の比較評価と方向性(案)を作成します。

図 方向性(案)検討の4つのステップ

実施体制

PIにかかると実施体制は、PIを実施する機能、方向性（案）を作成する機能、PIを監視し、助言を行う機能、各種調査を実施する機能の4つにより構成されます。

- ・ このうち、「PIを実施する機能」、「方向性（案）を作成する機能」は、福岡空港調査連絡調整会議が担うものとします。
- ・ 「PIを監視し、助言を行う機能」を担う第三者機関（福岡空港調査PI有識者委員会）を設置します。

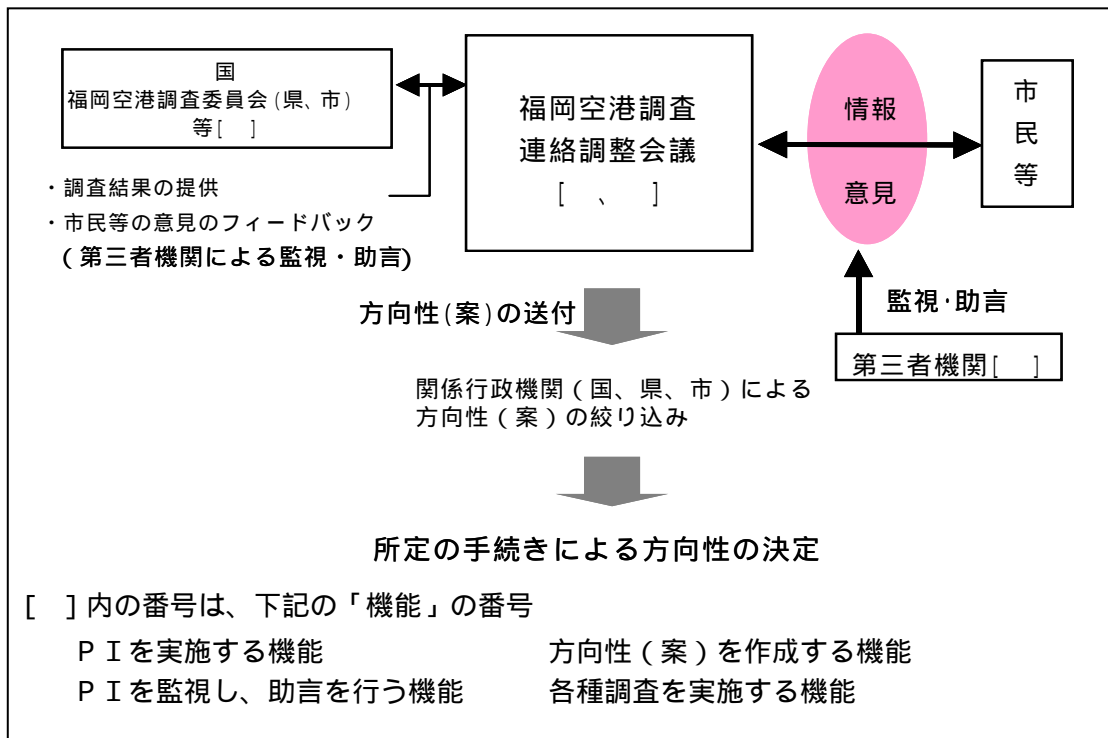


図 実施体制

PI手法

- ・ 各ステップでの検討内容にあわせて、多様かつ適切な手法により市民等との多重多層のコミュニケーションを実施します。
- ・ PIの手法は、状況に応じて見直すなど柔軟に対応します。

情報提供

福岡空港調査連絡調整会議が情報を提供する際には、

- ・ PI活動において各ステップに合わせて提供される情報については、市民等にわかりやすく取りまとめて提供します。
- ・ その検討材料となる情報については、PI活動で提供される情報との区別、検討中であるなどといった情報の性格と位置付けを明確にした上で提供します。

6) P I 計画の策定の経緯

- ・ P I 計画の取りまとめに当たって、幅広い市民等の意見を反映することが必要と考え、平成15年11月に計画の取りまとめの方針・方向性を示した「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方の検討に当たっての基本的な考え方」を公表し、意見を募集しました。
- ・ また、その上で、(案)を作成し、平成16年4月には、インターネットでの公表、小冊子の配布等、幅広く周知広報を実施し、パブリック・コメント(平成16年4月12日～5月12日：ご意見191件)を実施しました。

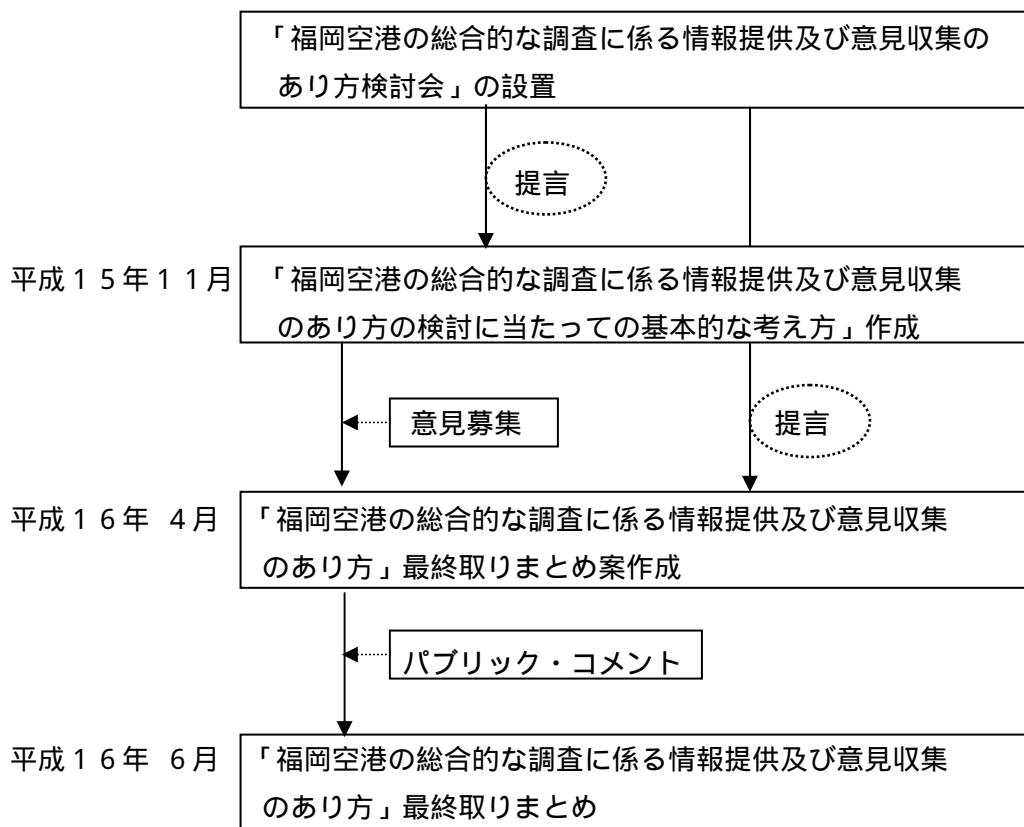


図 P I 計画策定・公表の経緯

2 福岡空港の総合的な調査の概要

福岡空港の総合的な調査

区分	国	地域
滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め	航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> ・空港能力の考え方の整理 ・航空サービスに係る指標及び評価方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握()
	現空港の有効活用方策の検討	
将来需要への対応方策の検討	地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主要地域拠点空港の役割と効果の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空の利用特性の把握() ・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討
	将来の航空需要の予測	
将来需要への対応方策の検討	近隣空港との連携方策の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> ・航空需要の分析 ・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理()を活用
	現空港における滑走路増設の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> ・滑走路増設に係る空港の計画要件の検討 ・現空港における滑走路増設の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・滑走路増設の資料収集・整理 ・滑走路増設に伴う影響と効果の検討
	新空港の検討	
<ul style="list-style-type: none"> ・空港の計画要件の検討 ・新空港の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・空港立地の考え方の整理 ・新空港に係る基礎検討 ・現空港用地の開発計画の検討
とりまとめ		

3 P I (ステップ1) の概要

P I (ステップ1) は、平成17年7月～12月まで、福岡空港の現状と課題について情報共有することを目的とし、周知広報活動と情報提供及び意見収集を実施しました。

説明会やオープンハウスなど各種催しを実施し、参加者は7,000名を超え、最終的に1,426名の方から3,115件のご意見をいただき、福岡空港調査P I有識者委員会から「P I (ステップ1) は適切なものであった」と評価されました。

(1) 周知広報活動

- ・ P I実施計画に基づき、P I活動の開始前および開催期間を通じて、下表のとおり、新聞、ラジオ広告、チラシ、ポスター、行政だより、ニュースレター及びホームページでの周知広報を実施しました。
- ・ 新聞広告、ラジオ広告などメディアを活用した広報では、大手のメディアを網羅的に活用し、新聞については、5紙にのべ6回広告を掲載、ラジオについては、約5週間にわたり広告を放送するなど、広く周知するよう配慮しました。
- ・ また、チラシについては、福岡空港及び県内主要駅等計20箇所において、約65,000部を街頭配布しました。
- ・ 行政だよりについては、福岡県だより、ふくおか市政だよりの2種類の広報誌を活用し、福岡県だよりについては福岡県内全域、ふくおか市政だよりについては福岡市内全域を対象に全戸配布を実施しました。

表 周知広報活動

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	冊子、チラシ、 ポスター配布数
新聞広告	のべ6回	大手5紙(読売、朝日、毎日、西日本、日経) 全5段広告 6/26～7/13 1回×5紙 5回 1紙、全5段広告 8/15	-
ラジオ広告	のべ78本	大手3局(FM福岡、KBC、RKB)20秒広告 7/20～8/23 1本/日×25日間×3局 75本 オープンハウス会場からラジオ中継 8/19,8/23,8/26	-
チラシ街頭配布		・ 県内20箇所(福岡空港および主要駅)街頭配布 ・ 県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	約65,000部
ポスター配布		県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布	1,100部
行政だより配布		福岡県だより2005年7月号(2005.7.1発行) ふくおか市政だより2005年7月号(2005.7.1発行)	福岡県だより: 約200万部 市政だより: 約70万部
ニュースレター配布		福岡空港調査連絡調整会議ニュース 配布	520部
ホームページ		6/24～	9,028アクセス (7/25～10/31)

(2) P I レポートに関する情報提供及び意見収集

- ・ P I 実施計画に基づき、平成17年7月25日より、福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ1)に関する情報提供及び意見収集を、下表のとおり実施しました。
- ・ 情報提供として、福岡空港及び県内主要駅等計20箇所において、約20,000部の P I レポート(ステップ1)概要版を街頭配布しました。また、県内市町村、中学校・高等学校・大学等への配布や、福岡空港、福岡県庁及び福岡市役所の3箇所にインフォメーションコーナーを設置し、定常的な情報提供を実施し、合計約50,000部を配布しました。
- ・ 意見収集として、説明会、懇談会及びオープンハウスを開催するとともに、要望により個別説明も実施しました。

表 P I レポートに関する活動結果

手法	実施回数実施箇所	実施場所・実施日	参加者または資料配布数
資料配布		・ 県内 20 箇所 (福岡空港および主要駅) 街頭配布 ・ 県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	約 50,000 部
福岡空港見学会	5 回	第 1 回 (8/17) 第 2 回 (8/21) 第 3 回 (9/4) 第 4 回 (9/5) 第 5 回 (9/10)	152 人
インフォメーションコーナー	3 箇所	福岡空港 (8/17~) 福岡県庁 (8/17~) 福岡市役所 (8/17~)	4,828 人 (福岡空港、10/31 現在)
ホームページ		6/24~	9,028 アクセス (7/25~10/31)
説明会	5 回	あいれふ (8/18) イイツカコミュニティセンター (8/22) 北九州国際会議場 (8/29) コミセンわじろ (8/30) 石橋文化センター (9/14)	235 人
懇談会	13 回	交通事業者等 (9/7 アクロス福岡) 航空関係事業者 (9/8 空港ビル) 空港関連事業者 (9/8 空港ビル) 利用企業等 第 1 回 (9/9 あいれふ) 第 2 回 (9/12 天神ビル) 第 3 回 (9/12 天神ビル) 第 4 回 (9/13 あいれふ) 空港周辺住民等 第 1 回 (9/14 地元集会所) 第 2 回 (9/16 地元集会所) 第 3 回 (9/17 地元集会所) 第 4 回 (9/20 空港ビル) 空港周辺自治体 (9/9 あいれふ) 市民団体 (9/10 アクロス福岡)	227 人
オープンハウス	5 箇所 (2 日/箇所)	天神地下街 (8/19~20) J R 小倉駅 (8/23~8/24) ダイヤモンドシティ・ルクール (8/26~8/27) 西鉄久留米駅 (8/26~8/27) ジャスコ穂波店 (9/2~9/3)	1,629 人
経済団体その他個別説明	4 回	9/2 福岡市内 9/13 福岡市内 9/15 福岡市内 9/15 福岡市内	150 人

(3) 寄せられたご意見

- ・ ホームページやP Iレポート概要版の街頭配布、インフォメーションコーナー、福岡空港見学会、説明会、懇談会、オープンハウス等の活動を通じて配布した意見記入用紙により、9月26日午前中までに1,369人の方からご意見が寄せられました。
- ・ 寄せられたご意見の概要とそれに対するP I実施主体の考え方については、『福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方』としてとりまとめ、10月14日に公表しました。
- ・ なお、最終的には、9月26日午後以降に寄せられた意見(57人、104件)を加え、『福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)』にとりまとめております。

(4) パブリック・コメント

- ・ 寄せられたご意見を集約し、ご意見に対するP I実施主体の考え方をとりまとめ、『「福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る意見募集(パブリック・コメント)』を実施しました。
- ・ 意見募集(パブリック・コメント)では、49人の方からご意見が寄せられました。これを拝見したところ、P I実施主体の考え方を理解していただいた上でのご意見を頂戴できたものと考えております。

(5) まとめ

福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)の活動は、P I実施計画(ステップ1)に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、わかりやすい情報の提供を実施し、収集したご意見とそれに対する考え方を公表してパブリック・コメントを行うなど、中立、公平、適正な時間管理のもと実施できたものと考えております。

また、情報が市民等に十分に周知され、市民等から幅広くご意見が収集されたと考えられることから、P I(ステップ1)の目標は達成できたものと考えます。

なお、寄せられたご意見の中には、「将来の航空需要予測に関する意見」や「近隣空港との連携方策に関する意見」などP I(ステップ2)以降の内容についてのご意見も多く見られました。P I(ステップ2)以降の実施に際しては、「福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」でお示ししたとおり、今回寄せられたご意見等も踏まえ、皆さんが参加しやすく、ご意見を寄せやすいよう、さらに工夫して参りたいと考えます。

(6) 福岡空港調査P I有識者委員会による評価・助言

次ページのとおり。

平成17年11月29日

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査P I有識者委員会
委員長 石田 東 生

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）の実施結果
に関する評価等について

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）の実施結果について、平成17年11月18日に当委員会を開催し、平成17年11月16日に提出された「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）実施報告書」及び当委員会が行った実施状況把握に基づき、下記の通り評価及び助言を行うことを決定したので通知します。

記

1 評 価

P I活動の実施については、P I実施計画（ステップ1）に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、分かりやすい情報の提供を実施し、収集した意見とそれに対する考え方を公表してパブリック・コメントを行うなど、中立、公正、適正な時間管理のもと実施できたものと認められることから、適切なものであったと評価します。

また、情報が市民等に十分に提供され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられることから、P I（ステップ1）の当初の目標は達成されたと評価します。

2 助 言

- 1) 周知広報について継続的な努力を行うこと。
- 2) 県外居住者や外国人などからも意見が収集できるよう検討すること。
外国語による情報提供なども検討課題。
- 3) 女性や若年層に対する情報提供等についても検討すること。
- 4) 様々な意見の方が相互にコミュニケーションを図ることも大事であり、そのための方法について検討することが必要。また、説明会や懇談会において多様な意見が出るような議事進行等の工夫を行うこと。
- 5) 福岡空港について市民等に興味を持ってもらうような手法を検討すること。
- 6) 「意見とそれに対する考え方」について、効率的なP I実施という視点を踏まえながら、その着実な実施を検討すること。

4 福岡空港調査 P I 有識者委員会規約

(趣旨)

第1条 この規約は、福岡空港の総合的な調査において、福岡空港調査連絡調整会議（以下「調整会議」という。）が行うパブリック・インボルブメント（以下「P I」という。）に係るプロセスの透明性、客観性及び公正性を確保することを目的として設置された、福岡空港調査 P I 有識者委員会（以下「委員会」という。）の所掌事務、委員の構成その他運営に関する事項について定めるものとする。

(所掌事務等)

第2条 委員会は、次の事務を所掌する。

- (1) P I 実施計画に関する評価
- (2) P I 実施段階における監視
- (3) P I 実施結果に関する評価
- (4) その他委員会の目的実現のために必要な事項

2 前項のほか、委員会は必要がある場合は、調整会議に対して P I プロセスに関して助言を行い、調整会議は委員会からの助言に対応する責務を負うものとする。

(委員の構成)

第3条 委員会は、所掌事務の遂行に必要な専門的知識及び福岡空港が抱える課題への対応策について中立的かつ客観的な考え方を有する有識者で構成し、別紙の通りとする。

2 委員の変更に際しては、委員会の承認を必要とする。

(第三者性)

第4条 委員は、特定の行政機関及び特定の利害関係者の利益を代表してはならない。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、委員会の所掌事務が完了するまでとする。

(委員長)

第6条 委員会に委員長をおく。

2 委員長は、委員の互選により選任する。

3 委員長は、会務を総理する。

4 委員長が職務を遂行できない場合は、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の運営)

第7条 委員会は、委員長の発議により開催する。

2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

3 委員会は、調整会議に対して委員会の会議への出席及び委員会の運営に必要な資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員は、個人を識別させる情報、個人の権利利益を害する恐れのある情報等を漏らしてはならない。

2 前項の規定は、委員の職を退いた後も同様とする。

(委員会の公開)

第9条 委員会は、特段の理由がある場合を除き、原則として公開とする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は福岡市が行う。

(その他)

第11条 この規約に定めのない事項は、委員会が定める。

付 則

この規約は、平成16年12月9日に施行する。

< 委員名簿 >

別紙

福岡空港調査 P I 有識者委員会委員

(五十音順)

氏 名	職 業
石 田 東 生	筑波大学社会工学系教授
杉 尾 政 博	西日本新聞社特別顧問
竹 林 幹 雄	神戸大学工学部助教授
土井良 延 英	公認会計士
山 本 智 子	弁護士

5 本実施計画に係る福岡空港調査 P I 有識者委員会の評価書

平成18年 2月28日

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査 P I 有識者委員会
委員長 石田 東 生

福岡空港調査 P I (ステップ2) 実施計画案に関する評価等について

平成18年2月10日付で送付のあった福岡空港調査 P I (ステップ2) 実施計画案については、平成18年2月13日に当委員会を開催し、下記の通り評価及び助言を行うことを決定したので通知します。

記

1 評 価

福岡空港調査 P I (ステップ2) 実施計画については、基本的にはステップ1の実施計画を踏襲しながら、ステップ1の実施によって得られた市民からの意見等を反映し、新たな手法の導入、県外を含めた情報提供範囲の拡大、さらには女性や若年層からの意見を収集するための工夫がなされているなど、ステップ1での経験とノウハウが盛りこまれた進化が認められることから、本計画は適切なものであると判断します。

2 助 言

- 1) P I レポート作成にあたっては、「地域の将来像と福岡空港の役割」と「航空需要の将来予測」について、市民の方と十分なコミュニケーションができるような分かりやすい示し方に努めること。特に「航空需要の将来予測」については、予測の前提条件とそれに対応した需要予測結果を分かりやすく示すこと。
- 2) 今回の P I が、段階的に行われる P I 手続きの中のステップ2であることを明確にし、提供する情報や収集される意見が他のステップと混用されないよう工夫すること。
- 3) P I 実施にあたっては、P I の各手法について、実施方法と実施のタイミングを工夫し、情報提供から意見収集に至る過程について適切な時間管理を行うこと。

6 関係機関のホームページ、情報提供窓口等

(1) ホームページ

福岡空港調査連絡調整会議 <http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

(2) P I 計画、P I 実施計画冊子等の情報提供窓口

印の窓口では、福岡空港調査連絡調整会議で報告された調査報告等の閲覧が可能です。

国の機関

- ・国土交通省九州地方整備局（空港 P T 室）

〒810-0074 福岡市中央区大手門 2 - 5 - 3 3

TEL(092)752-8601

FAX(092)724-2480

- ・国土交通省大阪航空局（空港企画調整課）

〒540-8559 大阪府中央区大手前 4 - 1 - 7 6

TEL(06)6949-6469

FAX(06)6949-6218

福岡県機関

- ・空港対策局空港計画課

県庁舎行政棟北側 9 階

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号

代表TEL(092)651-1111 内線2686

直通TEL(092)643-3216

- ・県民情報センター

県庁舎行政棟北側 1 階

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号

代表TEL(092)651-1111 内線2459

直通TEL(092)643-3108

- ・北九州県民情報コーナー

県小倉総合庁舎 2 階

〒803-0813 北九州市小倉北区城内 7 番 8 号

TEL (093)581-4934

- ・筑後県民情報コーナー

県久留米総合庁舎 1 階

〒839-0861 久留米市合川町 1 6 4 2 番地の 1

TEL (0942)30-1030

- ・筑豊県民情報コーナー

県飯塚総合庁舎 1 階

〒820-0004 飯塚市新立岩 8 番 1 号

TEL (0948)29-5459

- ・京築県民情報コーナー 県行橋総合庁舎 1 階
〒824-0005 行橋市中央 1 丁目 2 番 1 号
TEL (0930)23-9189

- 福岡市機関
- ・総務企画局 空港推進担当
〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 - 1
TEL (092)711-4102
- ・情報プラザ 〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 - 1
TEL (092)733-5333
- ・東区役所 企画課
〒812-8653 福岡市東区箱崎 2 丁目 5 4 - 1
TEL (092)645-1012
- ・博多区役所 企画課
〒812-8512 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 9 - 3
TEL (092)419-1011
- ・中央区役所 企画課
〒810-8622 福岡市中央区大名 2 丁目 5 - 3 1
TEL (092)718-1013
- ・南区役所 企画課
〒815-8501 福岡市南区塩原 3 丁目 2 5 - 1
TEL (092)559-5017
- ・城南区役所 企画課
〒814-0192 福岡市城南区鳥飼 6 丁目 1 - 1
TEL (092)833-4009
- ・早良区役所 企画課
〒814-8501 福岡市早良区百道 2 丁目 1 - 1
TEL (092)833-4307
- ・早良区入部出張所 〒811-1102 福岡市早良区東入部 2 丁目 1 4 - 8
TEL (092)804-2011
- ・西区役所 企画課
〒819-8501 福岡市西区内浜 1 丁目 4 - 1
TEL (092)895-7007
- ・西区今宿出張所 〒819-0166 福岡市西区横浜 1 丁目 2 - 1
TEL (092)806-0004

(本冊子等についての問い合わせ先)

国土交通省九州地方整備局(空港PT室) TEL (092)752-8601

国土交通省大阪航空局(空港企画調整課) TEL (06)6949-6469

福岡県企画振興部空港対策局空港計画課 P I 担当
代表TEL(092)651-1111 内線2686
直通TEL(092)643-3216

福岡市総務企画局空港推進担当 TEL (092)711-4102